

～健口と輝く笑顔のために～

歯科衛生だより 会報

2023 August vol.76

発行人／吉田直美 発行／公益社団法人 日本歯科衛生士会 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <https://www.jdha.or.jp/>

令和5年度 定時代議員会開催、新役員が選出される

令和5年6月11日(日) 13時30分から、ステーションコンファレンス東京にて定時代議員会が開催された。

新型コロナウイルス感染症は5類感染症に位置づけられ、今回は会場には多くの方が参集された。会場出席できない代議員は定款第21条より議決権行使、委任状をもって出席とする旨の説明があった。歯科衛生士憲章を出席者全員で読み上げ、物故会員に対する黙とうをささげたのち、議長には三好早苗氏(広島県)、副議長は末永智美氏(北海道)、議事録署名人に打矢純子氏(神奈川県)、高橋千鶴氏(兵庫県)が選出された。代議員数80名中出席者73名、議決権行使、委任状の合計7名、合計80名



選挙風景

により、定款第18条に定める総代議員の過半数以上の出席で定足数を充たし審議に入った。
第1号議案「理事および監事の選任に関する件」では、臨席した立候補者の自己紹介がなされ、定款

第20条第3項および役員選任規定第6条の規定に基づき、投票が行われ、立候補者は全員、賛成多数で承認された。第2号議案「令和4年度事業報告(案)に関する件」、第3号議案「令和4年度決算報告(案)に関する件」の議案書の説明後に「監査報告」があり、定款第20条第1項の規定により承認された。第4号議案「役員の報酬等に関する規程の改正に関する件」で、監事の報酬についての見直しの説明があり、規則・規定等、Ⅲ運用基準第4条に基づいて承認され、この規程は令和5年7月1日から施行、別表2が修正される。第5号議案「会長候補者の選定に関する件」では、定款第25条第3項の規定に基づき、吉田直美氏の会長再任が承認された。

報告事項では「令和5年度事業計画について」「令和5年度収支予算について」の説明があり、定時代議員会は拍手とともに閉会となった。



会長就任挨拶



公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美

引き続き、会長に再任いたしました。1期目は、急逝された前会長の後任として、業務を十分把握できないまま走らざるを得ず、皆様に支えていただき全うすることができました。皆様に心より感謝いたします。2期目を迎え、職務の全体像がようやく見られるようになり、自らの理念をもって歩みを進めたいと考えております。変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

歯科衛生士が専門職と真に社会から認められるためには、全ての歯科衛生士が職能団体に所属し、必要な研修や情報を受け、スキルアップに継続して努め、倫理綱領を守って行動することが必要です。都道府県会と力を合わせ、組織拡大に取り組み、社会の歯科衛生士への期待に応えられる組織としていきたいと思いますので、今後とも皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

副会長 久保山 裕子



副会長に就任いたしました。病院、診療所、教育養成、地域歯科保健、在宅・施設口腔健康管理、災害歯科保健などの歯科衛生推進委員会を担当することになりました。歯科衛生士の活動は医療や介護など広がっています。職能団体の委員会として、歯科衛生士の業務をサポートできるような活動をしていきたいと思っております。微力ですので皆様に協力をいただきながら会務に携わりたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

副会長 河野 章江



このたび副会長に就任いたしました。生涯研修委員会、認定歯科衛生士委員会、国際協力委員会を担当します。微力ではありますが、本会事業の中核である研修事業をさらに充実、発展させていきたいと思います。さらに2期の専務理事の経験を活かし、各都道府県歯科衛生士会をはじめ全国の会員の皆様のご意見、ご要望を伺いながら、職務に尽力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



監事 渡邊 洋子

引き続き監事を務めさせていただくことになりました。皆様のご支援に感謝申し上げます。理事の皆様の業務執行を見守りつつ、公平・公正な運営がなされるように、誠実に尽力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



監事 今村 敬

会員外監事として、適切な会務運営に資すると共に会計及びIT等の分野に関して専門的な知見をインプットする事により、会員の皆様方及び社会からの負託に応えつつ公益社団法人として当会の発展に役立つて参りたいと存じます。

令和5年度日本歯科衛生士会会長表彰授与

令和5年度定時代議員会開催に先立ち、表彰規程に基づく永年精励賞および功労賞の表彰式が行われた。今年度は、永年精励賞70名、功労賞28名の方に授与された。当日、会場には永年精励賞13名、功労賞5名が出席され、出席者一人一人に会長より表彰状や盾が授与された。

吉田会長のご祝辞の後、受賞者を代表して永年精励賞は入山久美子様（群馬県）、功労賞は志喜屋やよい様（沖縄県）が受賞の喜びを述べられた。



謝 辞

永年精励賞

群馬県歯科衛生士会 入山 久美子 様

このたびは栄誉ある「永年精励賞」を賜り、心より感謝申し上げます。

歯科衛生士免許を取得してから、本年で64年が経過いたしました。

その間、導いていただいた諸先輩方、切磋琢磨した仲間、多くの方々にお世話になり貴賞を受賞することができました。



初めて勤務した歯科診療室、子育てが一段落した後、在宅歯科衛生士として地域歯科保健の現場で、迷いながらも業務に邁進していた日々が懐かしく思われます。

コミュニケーションの取りづらい患者様の心の扉が開いた時、言葉では言い表すことのできない喜びを感じたこと、歯科衛生士としてのやりがいや生きがいをいただいた瞬間でした。今でも鮮明に記憶しております。

幸いなことに、現在も郡市區歯科医師会の歯科衛生士として地域住民の口腔保健の向上のため、微力ではありますが、自分の歩幅で歩ませていただいております。

結びに日本歯科衛生士会の今後ますますの発展を祈念いたしまして、御礼の言葉とさせていただきます。

功 労 賞

沖縄県歯科衛生士会 志喜屋 やよい 様

このたび、功労賞を頂き身に余る光榮に感謝申し上げます。

振り返りますと、私が入会した1990年は厚生大臣指定講習会の開催の年でした。当時、沖縄県の会員は25人と弱小な会でしたが、実行委員会を立ち上げ、現在も勤務しております沖縄歯科衛生士学校と沖縄県歯科医師会の協力で無事に開催することができました。現在、会員も260人余りと約10倍の数になり、一昨年には法人化も致しました。

また、ブロック理事を務めていた頃、歯科衛生士法の改正があり、当時の金澤会長（現顧問）はじめ役員の皆さまの熱意を感じ、改めて職能団体の重要性を認識致しました。この2つの大きな法改正の時期に関わることが出来ました事に改めて感謝申し上げます。

今後も微力ながら、歯科衛生士教育に携わり、若い会員を増やし組織拡大の一助になれたらと考えております。



最後に、日本歯科衛生士会の今後益々のご発展を祈念申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。



大災害時における練習画面のご案内 —9月1日～7日—

9月1日の「防災の日」に合わせ、日本歯科衛生士会のウェブサイト画面に、大規模災害を想定した「災害特別ページ」を掲載します。その画面から安否登録や安否確認などの練習を行うことができます。

練習画面の掲載期間は9月1日から7日までの一週間です。(期間終了後の登録データは削除されます)

災害は、いつどこで起こるかわかりません。ぜひ、この機会に練習を行ってください。

(災害歯科保健委員会)

功 労 賞 (敬称略)

石田 菜穂子(青森県)	田名辺 裕子(青森県)	山口 柳子(秋田県)	末廣 かなえ(山形県)
竹中 京子(茨城県)	芹澤 鏡子(茨城県)	春日 圭子(茨城県)	星野 小百合(栃木県)
落合 美穂(埼玉県)	根岸 麻理(東京都)	伊藤 由美香(山梨県)	宮浦 朗子(石川県)
虎尾 裕美(福井県)	渡瀬 恵子(三重県)	谷口 篤子(滋賀県)	中山 浩美(滋賀県)
上原 弘美(兵庫県)	花田 浩美(和歌山県)	森川 千尋(和歌山県)	小谷 弘美(鳥取県)
岸本 真紀(鳥取県)	杉山 珠美(岡山県)	山本 春江(広島県)	島本 富世(福岡県)
猪野 恵美(長崎県)	比嘉 香恵子(沖縄県)	志喜屋 やよい(沖縄県)	上原 生子(沖縄県)

*会員歴30年以上、役員歴が日本歯科衛生士会・都道府県歯科衛生士会を併せて10年以上ある者

(28名)

永年精勵賞 (敬称略)

今村 理子(北海道)	三原 瞳子(青森県)	長澤 寿満子(秋田県)	鈴木 初枝(福島県)
安斎 典子(福島県)	石塚 英子(茨城県)	新井 節子(茨城県)	入山 久美子(群馬県)
亀井 厚子(群馬県)	長谷川 万里(群馬県)	最首 祐子(千葉県)	久保 理枝(千葉県)
和田 昭子(千葉県)	山崎 典子(千葉県)	石橋 悅子(千葉県)	佐藤 伸子(東京都)
大野 博子(東京都)	近藤 圭子(東京都)	杉崎 博美(東京都)	安田 加代子(東京都)
瀬戸 純子(東京都)	奈良 とみ子(東京都)	野口 昭美(神奈川県)	田邊 正子(長野県)
岡部 こず枝(福井県)	水野 智子(岐阜県)	清水 れい子(岐阜県)	花井 安規子(静岡県)
鳥山 貴子(愛知県)	谷口 篤子(滋賀県)	湯浅 妙子(京都府)	岩間 康子(大阪府)
小川 由紀子(大阪府)	小高 則子(大阪府)	戸田 ちか子(大阪府)	中井 真三子(大阪府)
安田 美栄子(大阪府)	宮本 美千子(大阪府)	上田 和美(兵庫県)	都倉 美佐代(兵庫県)
萬代 昌代(兵庫県)	二神 真由美(兵庫県)	河村 省子(兵庫県)	牧野 美佐代(和歌山県)
奥野 房代(和歌山県)	恵中 恵子(和歌山県)	横山 多恵子(鳥取県)	杉原 一枝(島根県)
高橋 悅子(島根県)	蒲田 治子(広島県)	長谷川 励子(広島県)	中河原 みどり(広島県)
豊田 美由貴(広島県)	吉田 幸子(徳島県)	岩佐 鈴子(徳島県)	関 あかね(愛媛県)
清家 茂代(愛媛県)	日野 里美(愛媛県)	片岡 千香(高知県)	伊東 泰子(福岡県)
福田 朝子(福岡県)	黒田 直美(福岡県)	山下 知子(福岡県)	橋辺 洋子(福岡県)
山口 とき子(長崎県)	半澤 佳子(長崎県)	原 陽子(長崎県)	小原 美奈子(熊本県)
逢坂 佐恵子(熊本県)	高柳 徳子(熊本県)		

*会員歴35年以上であって、年齢65歳以上の者

(70名)

令和4年度災害歯科保健医療体制研修会参加報告

— 令和5年度災害歯科保健医療体制研修会事前研修(eラーニング)のご案内 —

令和4年度厚生労働省「災害医療チーム等養成支援事業 災害歯科保健医療体制研修」が、東日本・中日本・西日本の3ブロックに分かれ、各2日間コースで開催された。令和4年度からは事前のeラーニングが導入され、「災害歯科保健医療体制研修」受講者でなくても、歯科医療従事者以外も、行政や地域保健、歯科関連企業の方々など、登録を行えば、無料で受講が可能であった。

令和4年度は、2年ぶりにすべての研修会が、市ヶ谷にある日本歯科医師会館で実施された。国における災害対応として、内閣府・厚生労働省・防衛省・警察庁・海上保安庁担当者の講話と総合討論、日本医師会の災害対応、心理的応急処置:PFA(Psychological First Aid)など、実際の現場を体感できる研修であった。

参加者は歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士を中心で、支援企画を立案し、各職の適性により役割分担を行った。支援者間の安全確保への配慮もふまえて、議論を重ね、気づけば、被災想定の報告書と地図の周りで、チーム全員で立ち上がり、被災地の実践さながらに意見交換を行っていた。

そして、日頃からの多職種連携と事前学習の大切さを体験する機会となった。災害時のみならず、日頃からの地域歯科保健活動の延長上に被災地支援活動がある。「災害」と聞くと非日常に感じるが、混乱している時でも、自然と行動がとれることと連携による信頼関係づくりが重要であると理解した。2日間であったが、チームの結束は固く、研修の効果を強く感じることができた。

歯科衛生士は生活習慣改善について通常時も支援しているため、災害時には、被災者の皆様に、いち早く寄り添いやすく、色々な状況下にある方々へのお声かけのきっかけを作りやすいことが想像でき、活躍への期待となった。研修を体験して、『災害歯科保健歯科衛生士』の皆様の益々のご活躍を祈念した。

受講修了者名は、同意された方のみ、都道府県ごとに日本歯科医師会ウェブサイトに公開されている。

(広報委員会 島谷 和恵)

日本歯科医師会 災害医療対策について

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>



— 令和5年度災害歯科保健医療体制研修会事前研修(eラーニング)のご案内 —

主 催	公益社団法人 日本歯科医師会
対 象	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、行政職従事者、一般社団法人日本歯科商工協会加盟企業従事者、災害歯科医療業務に従事する可能性のある歯科医師会等の団体の職員等
研修実施期間	令和5年7月1日(土)～令和6年3月末日まで ※実施期間中はいつでも受講することが可能
受講の申し込み と受講料など	令和5年7月1日(土)から日本歯科医師会ウェブサイト掲載の「令和5年度災害歯科保健医療体制研修会(eラーニング)」WEBフォームより申し込む。 <u>受講料は無料。</u> <申込期間は令和5年7月1日から令和6年3月末日まで>

※詳細は日本歯科医師会ウェブサイトをご確認ください。なお、全ての「理解度テスト」に合格した場合でも令和5年度災害歯科保健医療体制研修会受講者の推薦資格を得るのみで、定員枠がありますので、受講者として確定するわけではありませんのでご了承ください。

第68回日本口腔外科学会総会・学術大会 「第15回歯科衛生士研究会」開催のお知らせ

日 程 | 2023年11月10日(金)～12日(日)
の会期中

場 所 | 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)
大阪市北区中之島5丁目3-51

開催方法 | 現地収集のみ

参 加 費 | 事前登録3,000円 当日5,000円

主 催 | 公益社団法人 日本口腔外科学会

共 催 | 公益社団法人 日本歯科衛生士会

◆開催日と詳細については、日本歯科衛生士会および第68回日本口腔外科学会総会・学術大会ウェブサイトをご確認ください。

〔問題 86〕 56歳の男性。肺癌のため入院加療中である。骨に癌が転移したためデノスマブを投与中であるという。口腔内の状況が悪化したため、歯科訪問診療の依頼があった。口腔内写真(別冊午後No.36)を別に示す。丸で囲んだ部分は患部を示す。

- 歯科保健指導で適切なのはどれか。2つ選べ。
- a 患部を清潔に保ちましょう。
 - b 患部はなるべく乾燥させましょう。
 - c 口腔ケアは含嗽だけにしましょう。
 - d 刺激の少ない歯磨剤を使いましょう。

※正解：a d

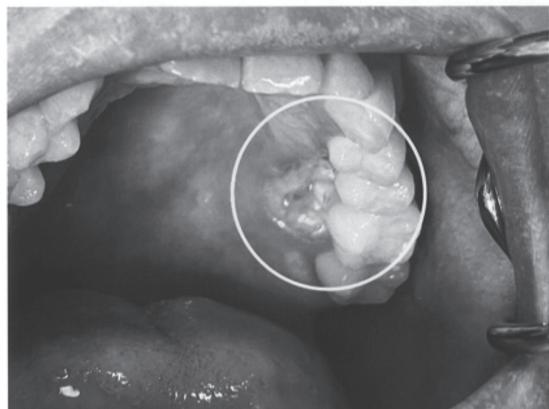


図5 第32回 歯科衛生士国家試験問題より引用

3つのポリシー

4年制大学や3年制短期大学では、①アドミッションポリシー(入学者受け入れの基本方針)②ディプロマポリシー(卒業認定、学位授与の方針)③カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)の3つのポリシーを掲げ、学位取得者としてふさわしい人材を社会に送り出すことを目的とし、それぞれの大学・短期大学の教育理念に沿って策定されています。

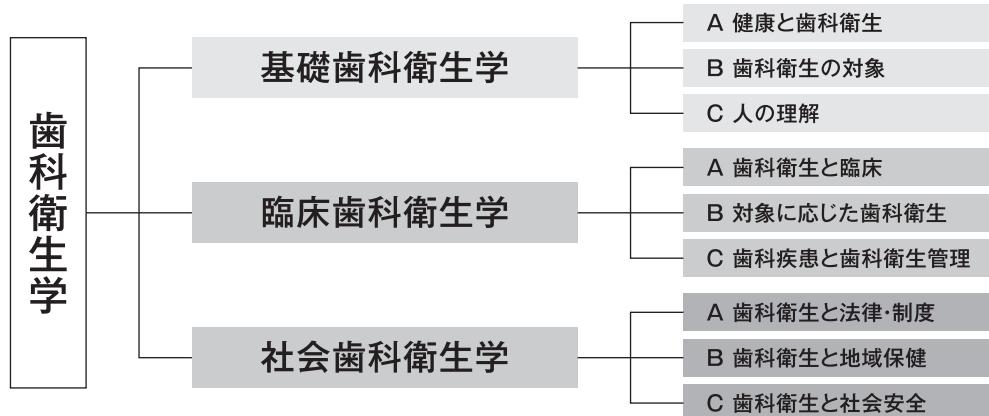
歯科衛生学生が卒業時までに身につけておくべき必須の歯科衛生実践能力に関する学修目標を示したものが歯科衛生学モデル・コア・カリキュラムであり、これを基に各養成機関が自主的に教育内容を編成しています。

教育養成委員会では、卒業後に身につけているべき実践力や専門性を發揮できる能力(コンピテンシー)について検討を行っています。

歯科衛生学の体系化

これまでの歯科衛生士の教育は、歯科衛生士の専門分野である「歯科予防処置論」「歯科診療補助論」「歯科保健指導論」の3領域で教育されています。現在全国歯科衛生士教育協議会では、歯科衛生士固有の特性を生かした専門分野を「歯科衛生学」とし、歯科衛生は口腔の健康を通して全身の健康の維持・増進をはかり、生活の質の向上に資するためのものであり、この歯科衛生の理論と実践の両面から探求する学問が「歯科衛生学」であると定義づけています(図6)。

歯科衛生学の定義：歯科衛生は、口腔を通して、全身の健康の維持・増進をはかり、生活の質の向上に資するためのものである。この歯科衛生の理論と実践の両面から探求する学問が歯科衛生学である。



※令和4年全国歯科衛生士教育協議会作成(中項目以降は検討中)

図6 歯科衛生学の体系図

今後全身の健康と口腔の関連について認知が深まるにつれ、歯科衛生士は歯科疾患を予防し、歯や口腔の健康の保持・増進を図る専門職としての一端を担えるような教育の実践が求められています。

日本歯科衛生士会では、社会に踏みだした新人歯科衛生士が実践能力を身につけられるよう、卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制を実現することが重要と考えています。

(教育養成委員会 山田 小枝子)

令和5年度「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」について

今年度も標記研修事業を下記スケジュールで行います。新人歯科衛生士の離職防止と復職支援を地域において実践する指導者を養成するための研修です。歯科衛生士の不足を解消して歯科衛生士の専門性を高めるために、本研修会の受講は欠かせません。本年度も具体的な新人歯科衛生士の育成プログラム等を紹介する予定です。

研修対象は、①都道府県歯科衛生士会等において研修事業の企画運営を担当する者、②歯科衛生士養成機関の専任教員、実習指導員、③臨床実習施設等で指導を行っている者、④③のほか、臨地実習施設等で指導を行っている者です。

令和4年度に引き続き、オンラインで開催いたします。すでに受講者募集は締め切っておりますが、受講可能な開催日は追加募集を行っています。お問い合わせください。



研修日程(オンライン開催)	
第1回	令和5年 8月 5日(土)～ 6日(日)
第2回	令和5年 9月 2日(土)～ 3日(日)
第3回	令和5年11月25日(土)～26日(日)
第4回	令和5年12月 9日(土)～10日(日)

『International Journal of Dental Hygiene』

Linking JDHA to IFDH



本会では、国際歯科衛生士連盟が発行する学術誌「International Journal of Dental Hygiene(IJDH)」を購読しています。会員の皆様にはIJDHが無料公開されているウェブサイトに直接アクセスできるように、最新号の二次元コードを公開いたします。有料の部分については、IJDHを本会の事務所で閲覧することができます。国際協力委員会までお申込みください。(FAX 03-3209-8023)

国際歯科衛生誌

2023年5月 第21巻2号

本号は、掲載されている24報すべてが原著論文です。歯周病、口腔衛生管理、歯ブラシと音波歯ブラシの比較、洗口剤の薬効や口臭への効果等、歯科衛生士が関わる幅広いテーマに関する知見を得られます。

また、COVID-19パンデミック下における世界各国の報告が7報掲載されています。身近なテーマに対する研究への取り組み方を知る良い機会になるかと思われます。

(国際協力委員会 委員 宮澤 純子)



理事会報告

令和5年度第1回理事会が令和5年5月21日(日)に開催された。審議事項および報告事項は次のとおりである。

審議事項

- (1) 令和4年度事業報告(案)について
- (2) 令和4年度決算報告(案)について
- (3) 令和4年度事業報告に係る提出書(内閣府)について
- (4) 令和5年度定期代議員会の概要(代議員会運営規則第2条第1項7号イ、ロ及び第2項関連)について
- (5) 会計及び財産管理規程の一部改正(案)について
- (6) 令和5年度会長表彰について
- (7) 令和5年度「地域歯科衛生活動」助成事業(案)について
- (8) 新入会員の承認について
- (9) 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会「第15回歯科衛生士研究会」について
- (10) 認定歯科衛生士の英語表記(案)について
- (11) その他

- (6) ① 歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業報告について
② 令和4年度医療施設運営費等補助金「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業報告」について
- (7) 令和5年度歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」の応募について
- (8) 令和4年度「地域歯科衛生活動」助成事業実施報告書について
- (9) 令和5年度歯と口の健康週間について
- (10) 第80回全国小学生歯みがき大会組織委員会報告について
- (11) 第32回歯科衛生士国家試験の実施状況について
- (12) 後援名義使用及び生涯研修制度の研修単位認定について
- (13) 歯科衛生士試験企画評価委員会委員の委嘱依頼について
- (14) 令和5年度愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター運営会議オブザーバーの委嘱について
- (15) 歯科衛生士試験委員選考委員会について
- (16) 令和5年度ブロック連絡協議会、ブロック研修実施要領について
- (17) 歯科技工士試験事業に係る歯科医療振興財団の回答について
- (18) その他
第4回文部科学省高等教育局医学教育課と歯科衛生士教育にかかる国公私立大学・短期大学との情報交換会要旨

報告事項

- (1) 会務報告について
 - ① 業務執行理事等の職務執行報告について
 - ② 常務理事会の報告について
 - ③ 常任委員会等の報告について
- (2) 監査実施報告について
- (3) 職員の採用・昇任について
- (4) 代議員名簿(令和5年～令和6年)について
- (5) 第2回「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」運営協議会報告について

その他

【配布資料】

- (1) 令和5年度予算・制度等に関する要望に対する回答について(参考資料)